

教育目標『ふるさとを愛し 自ら考え たくましく生きる児童の育成』

～思いやりのある子・進んで学ぶ子・たくましい子～



# 松小だより

令和6年6月24日(月)

学校通信 第11号

発行 学校長

電話 027-393-1521

※個人情報の取扱にご留意ください。

〈松井田小ホームページ <http://www.annaka.ed.jp/shin-matsuida/>〉

## 桃太郎は正義のヒーローか！？ ～人権講話～

6月18日(火)に、「立場が変われば」と題して校長の人権講話を行いました。本年度1回目となる今回の人権朝礼では、昔話「桃太郎」のお話をとりあげ、鬼の立場から考えてみました。一般的に悪者として描かれることの多い鬼。しかし、鬼ヶ島に住む鬼の立場になって考えてみると、桃太郎は村人たちのうわさ話だけを信じて鬼たちを退治してしまったのではないだろうか、家族を守るために鬼たちはどんな思いで桃太郎たちと戦ったのだろうか。立場を変えてみると、様々な違う景色が見えてきます。学校生活の中では、誤解や勘違い、思い違いや立場の違いから衝突する場面があると思います。「みんなが楽しく過ごす」「いじめのない学校にする」ためには、相手の立場にたって考えてみることも必要ですね。最後に、本年度の本校人権テーマソング「すてきな友達」を全校児童で合唱しました。歌詞の意味を考えながら心を込めて歌う姿に、とても明るい未来を感じました。本校では、お昼の放送の時間を使って、「心に残ったことや友達の姿に感動したこと」を、専用BOXに投函してくれた児童の作文を紹介しています(思いやり放送)。今回の人権講話についても、たくさん投稿してくれました。その原稿の中から、一部をご紹介します。



## 児童の感想 ～思いやり放送の原稿から～

- 4年 ○○ ○○ さん：相手の気持ちを考えたり立場になったりすれば、相手のつらさや嫌だなあという気持ちがわかると思いました。相手の気持ちを考えることができるようになったら、相談にのったり手伝ったりすることができると思います。
- 4年 ○○○○○ さん：校長先生が最後に「学校教育目標」のお話をしているとき、「自ら考え」ということは、「人権」と「思いやりのある子」を目指すためにあるのかなと思いました。私は、人権はやさしさと思いやりが詰まっているものだと思います。
- 4年 ○○ ○○ さん：桃太郎のお話を聞いて、友達と仲良くしようという気持ちが強くなりました。そして、私はいつも友達に譲ってもらったり、手伝ってもらったりして温かい気持ちになり、楽しい一日が過ごせています。みなさんも、ぜひこんな気持ちになれたらよいと思います。



現在アメリカ在住の○○さんは、現地校の長期休暇を利用して帰国し、2年生の時以来6/17(月)から体験入学という形で4年生の学級と一緒に学校生活を送っています。○○さんの感想からは、4年生の学級の温かな雰囲気が伝わってきますね。1学期終わりまでの登校になりますが、楽しい思い出をたくさんつくってほしいと思います。

- 5年 ○○ ○○ さん：校長先生のお話を聞いて、なんだか鬼たちがかわいそうに思えたので、相手の立場にたって考えることがとても大切だと思いました。けんかしそうになった時、相手の立場を考えたり、先生に相談したり、謝ったり、友達とも事情を話し合ったりしていきたいと思いました。
- 5年 ○○○○○ さん：いじめをなくすためには、相手の立場になって考えてみるのが大切だと思いました。なぜなら、相手の気持ちを考えることで、相手は何が嫌だったのかとか、どうしていじめをしてしまったのか、ということがわかるからです。けんかをしそうになったら、お互いに謝る、自分たちで解決できないときには先生に相談するとよいと思いました。
- 5年 ○○ ○○ さん：校長先生の話聞いて、相手の立場を考えることは大切だと思いました。お互いのことを考えて行動した方がいじめもなくなると思いました。

5年 ○○○○○ さん：相手の立場を考えないで行動するのと、考えて行動するのとでは、どちらの方がよい行動かを考え、家族、仲間、物、世界がどれだけ大切か、みなさんに考えてほしいです。

5年 ○○ ○○ さん：最後にみんなで「すてきな友達」を歌いました。すごいみんなの最高の歌だなあと感じました。校長先生の桃太郎のお話を、ずっと忘れたくないと思いました。

6年 ○○ ○○ さん：自分で正義だと思っていることも、本当の正義ではないのかもしれないと思いました。しっかりと相手の立場になって考えて行動することが重要ということもわかりました。こんなありきたりのことしか自分ではわからなかったけど、よく考えてみると、その「ありきたりのこと」も考えずに行動していたことがありました。つい感情的になって口げんかになったときは、自分が正しい（正義）と思っていたからかもしれません。だから、日常生活の中で、「今、相手はどんな気持ちなのか」ということを考えて生活していきたいと思います。

6年 ○○ ○○ さん：いろいろな人の視点から考える、うわさはあくまでうわさだから信じない、ということが大切だと思いました。

6年 ○ ○○ さん：うわさなどは信じずに、いろいろと確かめてからその人に話したり聞いたり指摘すれば、お話のようなことにはならなかったのかなと思いました。これからは、いろいろなことをうのみにせず、自分の頭で考えてから行動しないといけないのだなと思いました。そして、きちんと相手の立場になって考えないといけないことがあらためてわかりました。

6年 ○○ ○○ さん：今まで普通に聞いていたお話でも、立場（考え方）を変えれば、別のお話になると思いました。うわさで人の自由を奪ってしまうのはいけないと思いました。



## 歯と口の健康に関するコンクール作品展示

「群馬県歯と口の健康に関するコンクール」の地区審査が行われ、5年 ○○○○○ さんのポスターが、「小学4～6年の部」で最優秀作品となりました。おめでとうございます！作品は安中市代表として、群馬県の審査会に推薦されます。なお、地区審査会に出品された「図画、ポスター、標語」の市内各小中学校の代表作品につきましては、下記の予定で展示されます（県審査会に推薦された図画、ポスター作品はカラーコピー）。お時間のある方は、ぜひ足を運んでみてください。



安中市文化センター エントランス展示 6/21（金）9:00～ 28（金）16:00  
松井田文化会館 ギャラリー展示 7/3（水）11:00～ 10（水）16:00

## 熱中症対策



先週末、平年よりも2週間程度遅く関東地方の梅雨入りが発表されました。まだ6月とはいえ、これからの季節は室内外を問わず熱中症が心配されます。児童は、これまで学校に水筒を持参し、各自で水分補給をしてきました。水筒の中身は、水やお茶に加えスポーツドリンクも有効です。その日の天候により、ご家庭の判断で持参させてください。ただし、水筒がスポーツ飲料対応になっているか、また、糖分のとりすぎにならないかなど、ご確認ご検討の上、ご判断をお願いいたします。

また、首に濡らしたタオルや市販のネッククーラー（冷やして首に巻くもの）などを身につける場合もあるかと思います。鉄棒やジャングルジムなど遊具を使った遊びの際には、タオル等が巻き付いて思わぬ事故を引き起こす危険もあります。学校でも指導いたしますが、ご家庭においても安全面から具体的な場面を想定してお話をしてあげてください。交通事故防止も同じですが、“自分の身は自分で守る”という気持ちを持ち、自己防衛力を高めることが危険回避の判断力を高め、あらゆる事故防止につながります。



6/26（水）授業参観の各学級の授業予定が決まりました。6月21日（金）に通知を配布しましたが、本校ホームページにも掲載しましたので参考にしてください。（TOP画面のInformationにリンクあり）